

校長のたわいもない独り言

つぶやき

令和2年12月11日（月）第66号
発行人

東京マラソンは来年3月から10月
に延期。仕方ないなあ～の川崎先生

★関東駅伝 12/5（土）茨城県ひたちなか市★

「たすきをつなぐ」って、そこには言葉だけでは言い表せない思いがたくさんある。そこに携わった者にしかわかり得ない心の動きがある。でも、その一人一人の行動や思いは、外から見ている川崎にも十分に伝わってきて、ただただ感動した。

順位やタイムというものは、その瞬間の調子や天候によって変動する。しかし、今回の駅伝大会を通してずっと変わらないものがある。それは「自分のため、仲間のため、支えてくれたすべての人のために走ろうとする心」。そして「全力を出し切ろうとする自らの想い」。これだけは絶対に真実であり変わらない。

その思いを胸に走ったのだから、全員が“ナイスラン”だ。もう百万回言ってもいい。全員が「ナイスラン」だ。

レースが終わってのミーティング。3年生が今日までの想いを語る。目を見開いてうなずく1, 2年生。少々寒かろうが暗くならうが関係ない。そんなことを忘れるくらい真剣に駅伝部だけの時間が流れる。そして3年生キャプテンから次期キャプテンの2年生にタスキが手渡される。目に涙をためて抱き合う姿は感動的で美しい。あ～、想いを分かち合えるって、本当にいいなあ～って思う。この姿を見られただけでも一緒に来てよかったと心から思う。

♥関東駅伝番外編♥

- ・渡邊な t は沖縄料理が好きだということが発覚。“海ぶどう”“ミミガー”“ソーキそば”“ゴーヤチャンプル”をニコニコしながら爆食していた(^_-)☆
- ・大久保教頭は唐揚げが好き。だいたい見てると唐揚げ定食選ぶ。
- ・帰りの高速サービスエリアでの夕食。それぞれが好きなものを注文。その中に一人「あんなこの唐揚げ定食」を頼んだ一人の女子。うん、大人&チャレンジャーだ。
- ・駅伝当日のホテルの朝食。バイキングなのだが、ご飯とパンを同時に選ぶ選手たち。カーボローディングを意識してか。さすがだ。川崎はというと、だし巻き卵と目玉焼きを選んでしまい、食べ始めてから“かぶり”に気が付いたという落ち。
- ・当日、駅伝コースを下見で爆走する一人の選手・・・だと思ったら斉藤 t。そりゃ他県の選手たちみんなが二度見するわけだ。
- ・“苦しい時こそ笑顔で”とレース前に話したら、川崎の前の上り坂（結構苦しい場所）を笑顔を作って駆け抜けていった3年男子二人。笑顔でラストスパートした3年女子。
- ・やはり中学生の大会でも、ナイキの厚底シューズが大人気。あれって値段が高いんだよなあ～。少なくとも川崎のシューズの二倍の値段。いや、三倍か。
- ・茨城という遠方の地にもかかわらず、当日先生たち（清水し t、比志 t、志村 t、中嶋 t、遠山 t）が応援に駆けつけてくれた。ありがたいことだ。もちろんこの地には来れないけれど、応援してくれている生徒や先生方もたくさんいる。すべての活動は人の支えなんだとしみじみ思う。